

19番	山田 治義 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 第6次総合計画で目指す将来像における、都市整備の進め方について</p> <p>【質問趣旨】 第6次総合計画で定める将来像に向け、中期事業計画により各種事業を展開し、都市整備については、都市マスタープランにおいても多くの課題とともに解決に向けた方向性が示されている。2022年に期限の切れる生産緑地法の対象農地については現在、農家に対しヒヤリングがすすめられているが、過去の例からも宅地化が進むものと考えられ新たな課題も生じてくると考える。どのような対応を考えているのか。</p> <p>中心市街地では高齢化の進行とともに、近年人口も減少している状況にあり、さらには空き家・空き地も増加している。また既存の市街地においては公園・緑地が少ないなど課題が示されている。中心</p>	<p>(1)生産緑地法の期限切れにともなう対応について</p> <p>(2)中心市街地の再整備について</p>	<p>①2022年の生産緑地法の期限切れを踏まえ、現在、農家に対して行われているヒヤリングはどのようなもので、状況はどうなっているのか伺う。</p> <p>②都市計画マスタープランには都市公園の適正配置として、既存の公園などの配置や生産緑地のあり方を検証し、市民の利用を向上させる都市公園の設置や見直しを行うとしているが、生産緑地の規制解除に対しどのような対応を考えているのか見解を伺う。</p> <p>③過去の例からも生産緑地を解除した農地については、多くが宅地化されている。現在でも豪雨時には雨水対策が必要な箇所も存在しており、期限切れを見据えた対策の検討も進めていくべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>①中心市街地の再整備については空き家問題の解決は不可欠である。本市における空き家の状況は、給水台帳による水道の閉栓や利用状況から、市全体で3000戸余りあるが、中心市街地における空き家の状況は把握されているのか伺う。</p> <p>②空き家等の対策については、中心市街地の建物解体支援・空き家情報バンクの開設や相談窓口を開設するなどの対策がとられ、解体支援の申し込みについては年々増加している。しかし支援対象は空き家全体からすれば年間1%に満たない状況であり、対策としての効果は心もとない。今後も増加が見込まれる中、さらに対策に厚みを持たせていく必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>③都市計画マスタープランでは、既成市街地は公園緑地が少ないことを課題としてあげ、街中に見られる低未利用地や空き地の活用により身近な広場や緑地空間を確保すると方針が示されている。子育てや防災の観点からも、身近な公園緑地は必要であるが、今後の具体的な対応は考えられているのか伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

19 番	山田 治義 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>市街地の再整備は、必須であり早急に具体的な対応をすべきと考える。都市再生特別法の改正に伴い、都市交通マスタープラン・公共交通網形成計画や今後予定されている立地適正化計画などにより、都市機能の集積・再配置によるコンパクトなまちづくりが進められようとしているが具体的にどのように取り組んでいくのか。また企業誘致をはじめとする地域経済の活性化を図る上でも、広域的な道路網である第3環状線・瀬戸東部環状線・北部環状線の整備は、不可欠であると考え本市の見解を伺う。</p>	<p>(3) 広域交通網形成について</p>	<p>④立地適正化計画の策定が予定されているが、この計画は都市全体を見渡したマスタープランとして位置づけられている。どのように活用していくのか。また指針のひとつには市街地の空洞化を防ぐとあるが、中心市街地の再整備についても盛り込んでいくのか伺う。</p> <p>⑤中心市街地では狭隘道路の存在も大きな課題であるが、解体後の空き地を放置すればそのまま家が建ってしまい、再整備に向けたまちづくりを考える上では問題である。再整備にあたっては、防災上の観点からも4メートルのセットバックを、6メートルにするなど地区協定を設定する努力も必要ではないか見解を伺う。</p> <p>⑥中心市街地では、現状においても都市機能の集積地であり、コンパクトシティの核となるべき地域でありながら、高齢化と空洞化が同時進行していることは市民のニーズに応えられない地域となっているものだと考える。再整備にあたっては、課題解決とともに小中一貫校の魅力を最大限に生かし、子育て世代が定住地として移住したくなるようなまちづくり構想を考えていくべきはないかと考えるが見解を伺う。</p> <p>①主要地方道瀬戸大府東海線については、現在、菱野橋の架け替え工事が行われているが、何時完了するのか、また南進にあたって幡西町交差点において交差点改良が不可欠であり、県とはどのような協議しているのか、今後どのように進めていくのか見解を伺う。</p> <p>②都市交通マスタープランにおいて外環状道路網の形成については、平成19年に策定された本市都市マスタープランで示されたものと変わりはなく、本市の将来を見据えた計画でありながら、長い間未着手のままである。東部環状線の北進・環状北部線や第3環状線について現在どのような考えを持っているのか。それぞれ</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

19 番	山田 治義 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>れ企業誘致や一体の企業団地の物流など周辺の情勢も変化し、道路の整備が待望されている。外環状道路網の形成については、企業誘致や定住化策を進めようとしている今、最も必要な道路である。市の直轄事業ではないが、本市の都市基盤の根幹を成すものであり、国・県など関係機関に対し市長のリーダーシップのもと、より積極的な働き掛けが必要であると考え本市の見解を伺う。</p>

- 備考
1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。